

令和7年度平塚市市民活動推進補助金事業報告書

1 団体名	認定特定非営利活動法人 JUDOS	
2 事業名	平塚市民の心と身体を柔道で元気に、国際交流の場を広げたい	
3 コース区分 ・補助額	(以下のいずれかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース	30万円
4 実施期間	(開始期日) 令和7年4月1日 (完了期日) 令和8年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>令和6年度は「海外柔道家と平塚市の皆様との交流事業」を実施し、市民の皆様が柔道を通じて国際交流を体験する機会を提供しました。この取り組みにより、地域社会の国際的な視野を広げると同時に、多くの方が柔道の持つ文化的価値とスポーツとしての魅力を実感されました。</p> <p>今年度はさらに活動の幅を広げ、柔道を通じた国際交流に加えて、柔道を通じて市民の皆様が気軽に身体を動かし、健康的で元気な日常を送れるような運動機会を提供していきます。</p> <p>1. 青少年： 近年、長時間のスマートフォン利用、地域の遊び場や部活動の減少により、子どもたちの体力低下が懸念されています。この事業を通じて、柔道の楽しさを伝え、運動の機会を増やします。さらに、本法人が招へいた海外の柔道選手との交流を通じ、異文化体験や国際交流の場も提供します。</p> <p>2. 一般市民： 運動不足は筋力低下や体力の衰えを招き、加齢による筋力やバランス能力の低下、反射神経の鈍化は転倒事故の原因となります。柔道の動きを取り入れた運動を提供することで、健康維持を支援し、日常生活での身体機能向上を目指します。</p> <p>3. ろう者： 情報伝達の壁や手話対応、視覚的サポートの不足により、運動の機会が制限される場合があります。本法人では、2025年に東京で開催されるデフリンピックに出場するろう者柔道選手の協力の下、柔道を通じた運動や交流の機会を提供します。これにより、情報の壁を越え、スポーツ参加の環境を整え、ろう者の健康促進と社会参加を支援します。</p>	

<p>6 実施した内容</p> <p>活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。</p> <p>※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。</p>	<p>① 青少年対象「平塚市の子どもたちとイギリス人柔道家との国際交流」</p> <p>2025年7月3日(平塚市北金目1丁目:中西直心館道場)</p> <p>参加人数 12名(青少年対象)</p> <p>当日は、柔道の基本動作や簡単な技の指導を通じて交流を行い、実技を中心としたコミュニケーションを図りました。言語の違いを越えて互いに教え合う場面も見られ、柔道を通じた国際交流の意義を実感する機会となりました。</p> <p>本事業により、参加した子どもたちは海外の柔道家と直接触れ合うことで国際的な視野を広げるとともに、柔道の楽しさや奥深さを再認識する貴重な機会となりました。</p> <p>② 一般市民対象「Kota's JUDOs(柔道)エクササイズ」</p> <p>2025年7月26日(平塚市北金目:東海大学道場)</p> <p>参加人数 25名</p> <p>2歳から60歳代まで幅広い年齢層の市民が参加しました。本イベントでは、東海大学柔道部コーチの大村康太氏を講師に迎え、柔道の動きを取り入れたエクササイズを行いました。参加者は体を動かしながら楽しく取り組み、年齢や経験を問わず交流する様子が見られました。柔道を身近に感じながら健康増進につなげるとともに、世代を超えた交流の機会を創出することができました。</p> <p>③ 一般市民対象「国際交流フェスティバルでの柔道パフォーマンス」</p> <p>2025年11月16日(平塚総合公園)</p> <p>参加人数約 50名</p> <p>平塚市総合公園において開催されたひらつか国際交流フェスティバルに参加し、柔道パフォーマンスを実施いたしました。当日は、柔道の基本動作や技の紹介を交えた演武を行い、多くの来場者に日本文化としての柔道の魅力を発信いたしました。初めて柔道を見る来場者も多く、迫力ある動きに歓声上がる場面も見られ、関心の高さがうかがえました。</p> <p>本事業を通じて、柔道の魅力を広く伝えるとともに、国際交流の場における文化発信として有意義な機会となりました。</p> <p>④ ろう者対象「平塚ろう学校柔道体験教室」</p> <p>2025年3月4日(神奈川県立平塚ろう学校)</p> <p>参加人数 37名(午前) / 32名(午後)</p> <p>デフリンピックに出場した佐藤選手および衣川選手を講師に迎え、手話による講義を行いました。午前には小学生を対象に、午後は中学高校生を対象に行いました。講義では、自身の経験や柔道を通じて得たことなどを分かりやすく伝えていただき、その後、実際に柔道の基本動作や受け身などの体験を実施いたしました。</p> <p>本事業を通じて、子どもたちは柔道に親しむとともに、デフアスリートの存在や挑戦する姿に触れる貴重な機会となりました。また、手話によるコミュニケーションを通じて、安心して参加できる環境づくりにもつながりました。</p>
---	--

	<p>来年度は、幼稚部でも実施してほしいと要望がありました。</p> <p>⑤ 青少年対象「平塚市の子どもたちとカナダ人柔道家との国際交流」 2025年3月27日(平塚総合公園) 参加人数約50名</p> <p>当日は、カナダ人柔道家による指導のもと、海外の指導スタイルやトレーニング方法を取り入れた柔道体験を行いました。参加した子どもたちは、普段とは異なるアプローチに触れながら、楽しんで取り組む様子が見られました。</p> <p>本事業を通じて、柔道の多様性や国際的な広がりを実感するとともに、異文化への理解を深める貴重な機会となりました。</p>
--	--

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者(サービスを受けた方)の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>本事業を通じて、柔道を活用した健康増進および地域交流の促進において、一定の成果を得ることができました。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加し、継続的な運動への意識向上や心身のリフレッシュにつながりました。</p> <p>また、イギリスやカナダなど海外の柔道家との交流や、国際交流フェスティバルでの発信を通じて、柔道を共通言語とした国際交流の機会を創出することができました。言語や文化の違いを越えたコミュニケーションが生まれ、多文化理解の促進にも寄与しました。</p> <p>さらに、ろう学校での体験教室では、手話を用いた指導により、誰もが参加しやすい環境づくりを実現し、インクルーシブなスポーツ活動の重要性を再認識する機会となりました。</p> <p>これらの取り組みにより、地域の活性化と国際交流の推進の両面において、有意義な成果が得られたと考えております。</p>
---	---

<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>本事業においては、カナダ人指導者による「柔道エクササイズ」を年間を通じて継続的に実施する計画でしたが、肩の怪我の影響により当該指導者が4月から12月まで帰国することとなり、当初の計画どおりの継続実施が困難となりました。</p> <p>そのため、イギリス人柔道家や東海大学柔道部のコーチの協力を得て事業を実施いたしましたが、当初想定していた指導体制とは異なる形での運営となりました。</p> <p>今後は、特定の指導者に依存しない体制の構築や、代替指導者の確保など、継続的かつ安定的に事業を実施できる仕組みづくりが課題であると考えております。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>一般市民向けに実施した「柔道エクササイズ」については、継続を望む声が多く寄せられました。今後は、日本人指導者およびカナダ人指導者の双方による実施体制の基盤が整いつつあり、継続的かつ安定的な事業展開を図ってまいります。</p> <p>また、平塚ろう学校での事業については、昨年度の中中学生対象の実施に加え、今年度は中学生および高校生を対象に実施いたしましたが、来年度は幼稚部での実施を希望する声も寄せられております。さらに、厚木市のインクルーシブ教育指定校からも同様の教室実施の要請があり、今後は対象や地域を広げながら、より多様なニーズに応じた事業展開が期待されます。</p> <p>これらを踏まえ、引き続き柔道を通じた健康づくりと国際交流、そしてインクルーシブな環境づくりの推進に取り組んでまいります。</p>

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 <input checked="" type="checkbox"/>
--------	---

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

① 収 入	項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)	
	補助金	400,000 円	300,000 円	▲100,000 円	平塚市市民活動推進補助金	
	寄附金	150,420 円	108,192 円	▲42,228 円	活動の賛同者からの寄付	
	不足分		6,957 円	6,957 円	団体負担	
	収入合計	A 550,420 円	B 415,149 円	B - A ▲135,271 円	発展コース：補助対象経費 415,149 円×80%=332,119 円 補助限度額 330,000 円	
② 支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
	消耗品費	2,000 円 (2,000 円)	1,752 円	1,752 円 (1,752 円)	▲248 円	マーカーペン、油性ペン計 8 本
	謝金	280,000 円 (130,000 円)	238,192 円	238,192 円 (130,000 円)	▲41,808 円	講師への謝金 22,274 円×4 回、通訳への謝金 20,000 円×3 回 柔道教室アシスタントへの謝金 11,137 円×8 回
	印刷製本費	83,000 円 (83,000 円)	71,886 円	71,886 円 (71,886 円)	▲11,114 円	書類用紙 A4×2 箱 (9,196 円)、印刷用トナー (4 色 42,860 円/2 色 19,830 円)
	使用料	50,000 円 (50,000 円)	50,000 円	50,000 円 (50,000 円)	0 円	会場使用料 (50,000 円)
	スポーツ用品	125,420 円 (125,000 円)	53,319 円	53,319 円 (53,319 円)	▲71,681 円	柔道衣 (あったかひらつか刺繍入 31,880 円/21,439 円)
	保険料	10,000 円 (10,000 円)	0 円	0 円 (0 円)	▲10,000 円	
		()		()		
支出合計	C 550,420 円 (400,000 円)	D 415,149 円	415,149 円 (306,957 円)	D - C ▲135,271 円		
③収支決算額 B 415,149 円 - D 415,149 円 = 0 円					【備考】(補助交付金額 400,000 円-対象経費中の補助金額 300,000 円) 余剰金 100,000 円は返還します。	

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。



① 平塚市子どもたちとイギリス人柔道家との国際交流

2025年7月3日、中西直心館道場にて平塚市子どもたちとイギリス人柔道家デル・イムリさんが柔道を通じた交流を行いました。



怖くない、喜びの柔道、痛くない、軽く動いて、心を休めたい、盛り上げたい！

KOTA's JUDOs エクササイズ

7/26 (土) 16:30 ~ 17:30
途中参加・退場OK
東海大学武道部柔道場
参加費：無料

動きやすい服装で参加してください。
柔道衣のレンタルもあります。(無料)

大村康太

<p>運動不足解消</p> <p>毎日のスクワットが身体がなまっていませんか？ 姿勢が悪くなると足腰が痛くなるので、 運動不足は、健康を失う原因になります。 元気になりましょう。</p>	<p>骨密度UP</p> <p>身体に刺激を与えることで骨密度が高められることをご存知ですか？ 中々知らない方は、 ぜひこの機会に、 骨密度を上げていきましょう。</p>
<p>柔軟性UP</p> <p>年齢を重ねると柔軟性が下がります。 柔軟性が下がると、 怪我の原因になります。 元気になりましょう。</p>	<p>ストレス解消</p> <p>日々の生活でストレスが溜まると、 心身ともに健康を失います。 ぜひこの機会に、 ストレスを解消しましょう。</p>

参加申込 / 締切
QRコードよりお申し込み下さい。
締切：7月22日 (木)
※ 柔道衣を借りてみたいという方は、
お申し込みください。

当日、柔道入り
料金は0円です

主催 NPO 法人 JUDOs
事務局: info@judos.jp



② Kota' s JUDOs (柔道) エクササイズ

2025年7月26日、東海大学道場にて平塚市民を対象に、大村康太さんの指導の下、柔道の動きを使ったエクササイズを実施しました。あったかひらつかロゴ入りの柔道衣をはじめて着用。好評でした！



③ 国際交流フェスティバルでの柔道パフォーマンス

2025年11月16日、平塚市総合公園で開催されたひらつか国際交流フェスティバルにて、東海大学柔道部員が柔道パフォーマンスを実施。

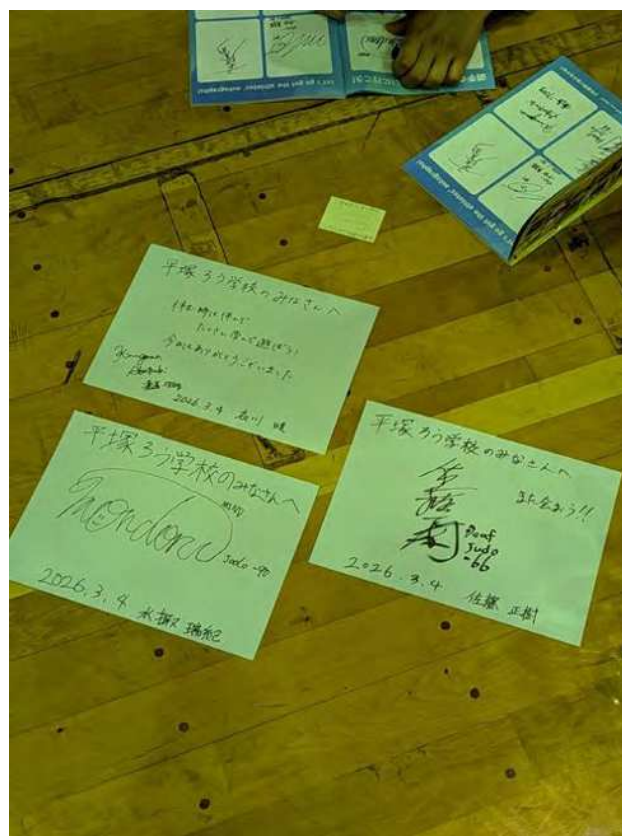


④ 平塚ろう学校柔道体験教室（午前）

2026年3月4日、平塚ろう学校にてデフリンピックに出場した選手らと柔道交流を実施。写真は午前中に実施した、小学生との交流風景。



小学生との交流は、はじめにデフリンピック銅メダリストの衣川暁選手による講義。その後、身体を動かす柔道体験を実施。



④ 平塚ろう学校柔道体験教室（午後）

同日午後には、中学生・高校生を対象に、デフリンピックに出場した佐藤正樹選手による柔道体験教室を実施。



⑤ 平塚市の子どもたちとカナダ人柔道家との国際交流

2026年3月27日、平塚市総合公園武道場にて平塚市の子どもたちとカナダ柔道家マイケル・ミラーさんが柔道を通じた交流を行いました。

令和7年度平塚市市民活動推進補助金事業報告書

1 団体名	平塚ゆかりの作家中勘助を知る会	
2 事業名	中勘助平塚居住100年記念企画 しづかな流れ写本プロジェクト	
3 コース区分 ・補助額	(以下のいずれかのコースを○で囲んでください。)	24万円
	入門コース ・ <u>発展コース</u>	
4 実施期間	(開始期日)	(完了期日)
	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
5 事業の目的	平塚に居住して100年の小説家中勘助について学ぶ	
申請書と同じ内容を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、絶版の小説「しづかな流」を写本。 ・ 編集、装丁、製本。 ・ 多くの方に手に取って「しづかな流」を読んでもらう。 ・ 100年前の平塚の自然、人々の暮らしを学ぶ ・ 100年先の私たちの暮らしを想像する。 	
6 実施した内容	平塚に居住して100年の小説家中勘助について学ぶ	
活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、絶版の小説「しづかな流」を写本。 ・ 編集、装丁、製本。 ・ 市内の全中学校、4図書館、美術館、博物館など、冊子を寄贈し、多くの方に手に取って「しづかな流」を読んでもらった。 ・ 読書会、散歩道散策会を通して、100年前の平塚の自然、人々の暮らしを学んだ。 ・ おのおのが100年先の私たちの暮らしを想像した。この小冊子の活用方法を模索した。 	
※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。		

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『しづかな流』を手書き写本することで、作品の魅力を再発見できた。 ・写本という活動の意義を実感した。他の作品も挑戦したい。 ・写本を欲しいという声が多かった。
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は予算の都合、初めて挑戦であったため、小冊子は限定 100 部の発行にとどまった。本が欲しいという声にこたえるため、編集を重ねて、増刷を検討中。 ・写本を原本として、ボードゲーム、かるた、デジタルゲームなど、若い人が注目するアイテムを考えたい。 ・中学生から『しづかな流』の感想を聞きたい。
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写本の有効活用方法を考える。 ・写本を再読し、もう一度書き直してみたい。

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ■
--------	---------------

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
補助金	310,000 円	240,000 円	-70,000 円	平塚市市民活動推進補助金
不足分	143,934 円	104,282 円	-39,652 円	寄付 (66,282 円)・会費 (38,000 円 19 人分)
不足分2		5,619 円	5,619 円	団体負担
収入合計	A 453,934 円	B 349,901 円	B-A -104,033 円	発展コース：補助対象経費 349,901 円×70%=244,930 円 補助限度額 240,000 円

項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
文献資料費	10,000 円 (0 円)	0 円	0 円 (0 円)	-10,000 円	資料書籍購入
書写文具費	20,000 円 (0 円)	9,247 円	9,247 円 (0 円)	-10,753 円	筆記用具、原稿用紙、コピー代
通信費	50,000 円 (0 円)	28,540 円	28,540 円 (0 円)	-21,460 円	宅急便、切手、封筒代
印刷・製本費	273,934 円 (260,000 円)	312,114 円	312,114 円 (240,000 円)	38,180 円	100 部 500 頁 製本代 (241,287 円+4,827 円+33,000 円*2)
講演会運営費	100,000 円 (50,000 円)	0 円	0 円 (0 円)	-100,000 円	運営費、講師謝礼
	()		()		
	()		()		
支出合計	C 453,934 円 (310,000 円)	D 349,901 円	349,901 円 (240,000 円)	D-C -104,033 円	

③収支決算額 B 349,901 円 - D 349,901 円 = 0 円	【備考】(補助交付金額 310,000 円-対象経費中の補助金額 240,000 円) 余剰金 70,000 円は返還します。
--	---

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

① 2025年4月～12月 写本活動の様子 平塚市市民活動センター、公民館、他にて







② 2026年3月9日 中さんの散歩道散策会 花水公民館、平塚海岸、尼寺、他 にて
中さんの散歩道を歩く

100年前に 作家・中勘助さんが歩いた ひらつか海岸、街、を歩きませんか
とき：3月9日（月）10：00-12：00 2時間程度です。

集合： 平塚市花水公民館前 平塚市桃浜町 34-34 平塚駅から徒歩 10分

桃浜公園内・中勘助文学碑あり、浜岳中学校の北側、

JR 平塚駅西口から、海に向かって徒歩 10分

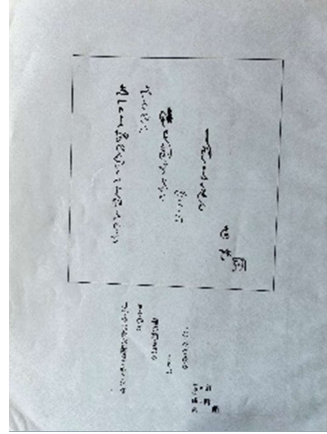
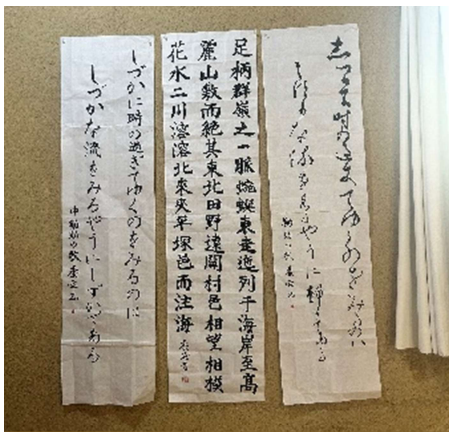
解散： 12時に現地（花水地区内）解散

*雨天場合は、翌週16（月）に延期

参加費：なし



③ 2026年3月23日 しづかな流読書会 平塚市市民活動センターにて



④



以上です。